

平成29年12月 市薬研修案内

会員各位

一般社団法人福岡市薬剤師会

下記のとおり、研修会を開催いたします。

◇開催場所：福岡市薬剤師会館 4F 講堂 福岡市中央区今泉 1-1-1 TEL：(092) 714-4416

開催日	研修会名	演題・講師など
12月1日 (金) 19時30分	学校薬剤師 研修会 《学校薬剤師委員会》	【平成29年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会関連報告】 学校薬剤師委員会 委員 村上 昌臣 先生 【平成29年度福岡市立学校におけるダニ又はダニアレルゲン検査実施報告】 学校薬剤師委員会 理事 北 智之 先生 【スポーツファーマシスト基礎講座】 福岡県薬剤師会 薬事情報センター 室長 神 雅子 先生
12月5日 (火) 19時30分	薬物療法研究会 《学術・研修委員会》	情報提供：「血行促進・皮膚保湿剤 ヒルドイドクリーム 0.3%について」 (マルホ) 演 題：「アトピー性皮膚炎治療のポイント」 講 師：国家公務員共済組合 浜の町病院 皮膚科部長 竹内 聡 先生 ◇PS 項目：1-4-5/2-1-24・29・30/2-2-79・80・90・156/2-3-27/3-1-12 【要旨】アトピー性皮膚炎は遺伝的体質と環境因子が合わさって発症する慢性湿疹病変です。保湿因子であるフィラグリン遺伝子の研究を契機にその病態の理解が進み、一方でプロアクティブ外用療法など臨床面からも治療方針が整理されてきました。最近では小児アトピー性皮膚炎と食物アレルギーとの関係がさらに詳しく研究され、幼少期からの治療の重要性も示されています。治療のコツやスキンケアについて、実例を供覧しながらお話しします。
12月7日 (木) 19時30分	東大・薬剤師会 育薬セミナー 《学術・研修委員会》	テーマ：抗ヘルペスウイルス剤 アメナメビル 製品名：アメナリーフ錠 200 mg (マルホ) 講 師：東京大学大学院 薬学系研究科 育薬学講座 教授 澤田 康文 先生 ◇PS 項目：1-1-1/1-2-1・2/1-3-1~4/2-1-4・6・22・24・26・29・30 2-2-79・80・103・120~123・127~136・140~153 2-3-1・3~5・31~38/4-1-1~5
12月13日 (水) 19時30分	Basic Study ～第5回新人薬剤師 のための基礎から学 ぶ疾患セミナー 《全10回》～ 《学術・研修委員会》	演 題：「高尿酸血症について」 講 師：株式会社アステム 血管MC福岡担当 関口 男 様 ◇PS 項目：1-1-1・2・4・6・7/1-2-5~9/1-3-4・5・18~20/1-4-3~5 2-1-1・13・24・27・45/2-2-59~61・120~122・143・144・ 156・157/2-3-1・3~15・20・29・31~39 3-1-5・7・10・15/4-2-1~4/4-3-1~5/4-4-2 【要旨】高尿酸血症は、遺伝的背景に加えて環境要因が大きく発症に関与する生活習慣病です。疾患として、性差があり、男性に頻度が高い疾患であることはよく知られています。特に、30歳以降の成人男性については、有病率が30%以上と推定され普遍的な疾患といえます。一方で、発症する症状に応じて専門とする診療科が異なってくることから、たとえば、急性関節炎では整形外科、尿路結石では泌尿器科、そして痛風や尿酸値高値を指摘された患者は内科と、様々な診療科を跨ぐ部分に患者管理の難しさをはらむ点も指摘されています。今回は高尿酸血症治療の指針と現在について、診断・分類から薬剤まで、総論的な内容で実施させていただきます。
12月15日 (金) 19時30分	在宅介護研修会 《在宅・介護委員会》	特別講演：『薬局薬剤師でも出来る緩和ケア』～患者さんの為に～ 講 師：一般社団法人全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 (J-HOP) 九州・沖縄ブロック長 株式会社神埼薬局 千代延 誠治 先生

開催日	研修会名	演題・講師など
12月19日 (火) 19時30分	Basic Study 《学術・研修委員会》	演題：「乳がん薬物治療の変遷と最近の話題」 講師：九州大学病院 第一外科 久保 真 先生 ◇PS項目：1-1-1・2・4・18・20／1-2-6～9／1-3-4・5・7・18～20 1-4-3・5／2-1-11・13・16・18・24～26／2-2-40・104～108 2-3-1・3～5・7～15・26・31・33～35 【要旨】ER陽性HER2陰性 進行再発乳癌に対しては、Luminal type 乳癌の治療課題やHR陽性乳癌に対する新しいアプローチなどがある。また、ホルモン療法のエビデンスと投与実態、ホルモン療法の適正使用についても紹介する。また、副作用マネジメントも非常に重要になる為、医療チームによる包括的支援が求められる。チーム医療の重要性を紹介し、薬剤師の役割についても考察する。
12月21日 (木) 19時30分	東大・薬剤師会 育薬セミナー 《学術・研修委員会》	テーマ：ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤 バリシチニブ 製品名：オルミエント錠 2 mg/4 mg (日本イーライリリー) 講師：東京大学大学院 薬学系研究科 育薬学講座 教授 澤田 康文 先生 ◇PS項目：1-1-1／1-2-1・2／1-3-1～4／2-1-4・6・22・24・26・29・30 2-2-87～89・120～123・127～136・140～153 2-3-1・3～5・31～38／4-1-1～5

☆研修会の動画配信システムについて (福岡市薬剤師会 会員向けサービス)

福岡市薬剤師会の会員の先生方は、福岡市薬剤師会の会員向けホームページで過去の研修会の動画及び配付資料を閲覧することが出来ます。

閲覧の際は、事前に登録をお願いいたします。詳しくは、事務局へお問い合わせください。

◇PS (プロフェッショナルスタンダード) 項目について

薬剤師が生涯にわたって学習すべき項目をまとめた「プロフェッショナルスタンダード(PS)」(日薬作成)の該当項目を研修一覧に追加しました。(一覧は、市薬ホームページにてご確認ください。)

◇研修会資料は福岡市薬剤師会ホームページの学術研修委員会資料に掲載しています。

◆取得研修単位：1単位 ※育薬セミナーシールのみ1.25単位

※県薬研修カードをお持ちの方は、必ずご持参下さい。

※研修会の開始時刻より20分以内に受付を済まされた方には、研修単位を発行いたします。

その後受付の方は、受講は可能ですが研修単位の発行は出来ませんのでご了承ください。

※研修単位は、申請状況によっては単位が認められない場合もございます。ご了承下さい。

◆受講料：福岡市薬剤師会所属のA会員・B会員・研修メンバー会員の先生は、無料。

それ以外の方(非会員を含む)は、受講料として3,000円の負担をお願いします。

※福岡市薬剤師会で開催される研修会・説明会等の運営は、保険薬局会費により運営しております。

詳しくは、福岡市薬剤師会事務局へお問い合わせください。(TEL：092-714-4416)